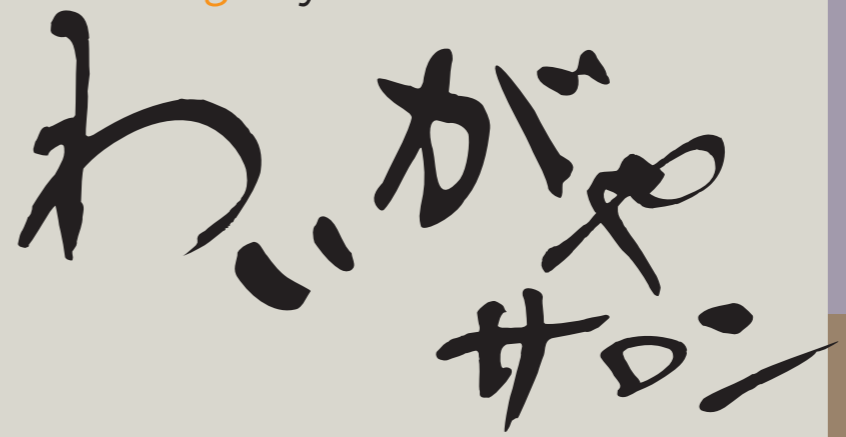


- 第1回/佐倉 一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長 樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回/久米 えみさん ながのクラッセ会長 樋口 敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回/鷺沢 幸一さん アスレながの事務局長 室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回/清水 隆史さん フォトグラファーほか 常盤 昭二さん CMディレクター
- 第5回/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回/竜野 泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長【一級建築士】
- 第7回/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回/荻原 健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回/松島 憲一さん 信州大学大学院農学研究所 准教授
- 第10回/松岡 保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回/浜 このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回/角本 浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回/針谷 友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回/水野 守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回/バドゥ・ピエラ監督、薩川了洋コーチ、真富信宏キャプテン
- 第16回/町田 良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回/塩澤 研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回/小出 陽子さん (同)ふぎっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回/宮城 恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回/志村 雅由さん NPO法人 飯綱高原よっくらしよ 代表理事
- 第22回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ新監督
- 第23回/石沢 一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回/新谷 志保美さん バンクーバーオリンピック代表 竹村製作所 勤務
- 第25回/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 システックス所属
- 第26回/鈴木 政一さん 長野パルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回/千村 尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回/川崎 史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回/安藤 長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回/マブソン 青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回/井上 裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回/田幸 淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回/飯室 織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166/バックパッカーズ」運営
- 第34回/相原 哲さん ながの町神輿連合会武蔵会 会頭
- 第35回/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回/薩川 了洋さん AC長野パルセイロ監督
- 第37回/小宮山 義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 第38回/塩澤 研一さん 農業生産法人株式会社水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回/因田 達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回/山田 隆さん しなの鉄道株式会社 専務取締役
- 第41回/藤岡 牧夫さん イラストレーター・絵本作家
- 第42回/矢澤 秀成さん 園芸研究者/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回/近藤 京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回/栗田 貞多男さん 写真家
- 第45回/鴨志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回/天野 良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回/美濃部 直彦さん AC長野パルセイロ監督
- 第48回/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回/浅野 邦子さん 株式会社第一 代表取締役会長
- 第50回/平沢 幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー

- 第51回/本田 美登里さん AC長野パルセイロ・レディース監督
- 第52回/小田 與之彦さん 株式会社加賀屋 代表取締役社長
- 第53回/廣井 紀文さん 株式会社ディーテス 代表取締役社長
- 第54回/羽生田 豪太さん 株式会社羽生田鉄工所 代表取締役
- 第55回/中島 麻希さん 1級フードアナリスト
- 第56回/齋藤 安彦さん 宮司
- 第57回/屋敷 陽太郎さん NHKチーフプロデューサー
- 第58回/平山 俊さん 歴史研究者
- 第59回/西村 知子さん 寺町商家運営アドバイザー
- 第60回/広瀬 毅さん 株式会社CREEKS 広瀬毅建築設計室代表
- 第61回/浅野 哲也さん AC長野パルセイロ監督
- 第62回/中島 恵理さん 長野県副知事
- 第63回/服部 秀人さん 信州・橋の日推進協議会専務理事/エコファーマー
- 第64回/平尾 勇さん 長野県観光機構エグゼクティブ・プロデューサー(前松本市商工観光部長)
- 第65回/野池 裕子さん ダイヤモンド・セルフ長野ファースト 代表・講師
- 第66回/愛甲 宏明さん 炭平コンピューターシステム株式会社 代表取締役社長
- 第67回/坂橋 克明さん フリーパーソナリティー
- 第68回/宮下 秀樹さん 株式会社守谷商会 執行役員、国立長野高等専員教授
- 第69回/金田一 真澄さん 公立大学法人 長野県立大学 学長
- 第70回/笹本 正治さん 長野県立歴史館 館長
- 第71回/山本 克也さん 長野市芸術館 総支配人
- 第72回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第73回/山浦 直人さん 土木・環境しなの技術支援センター理事、長野県立歴史館客員学芸員
- 第74回/松本 克幸さん 協栄電気興業株式会社 取締役副会長
- 第75回/大室 悦賢さん 長野県立大学グローバルマネジメント学部教授/ノーションイノベーション創出センター長
- 第76回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第77回/水間 源さん 東御市役所 地域おこし協力隊
- 第78回/小澤 吉則さん 一般財団法人 長野経済研究所 理事・調査部長
- 第79回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第80回/森田 舞さん ゆめサボママ@ながの 共同代表
- 第81回/新井 精一さん 千広建設株式会社代表取締役
- 第82回/竹内 伊吉さん 大成産業株式会社代表取締役社長
- 第83回/AO VIVO(アオ・ヴィーヴォ):竹内 浩一・中川 雅紀・山極おーじ優子・長谷川 裕晃・中田 寿寛
- 第84回/シュタルフ 悠紀 リヒャルトさん AC長野パルセイロ監督
- 第85回/若林 健太さん 衆議院議員
- 第86回/越原 照夫さん 株式会社まちづくり長野 常務取締役
- 第87回/FT Naked(エフティー・ネイキッド):林 保之・林 栄一・寺沢 雄一郎・中田 寿寛・長谷川 裕晃
- 第88回/荒井 雄彦さん シンローラス株式会社 代表取締役
- 第89回/鈴木 隆治さん NUPRI 事務局次長/鈴木土地株式会社 代表取締役社長
鷺澤 幸一さん NUPRI 副理事長/炭平コーポレーション株式会社 代表取締役社長
- 第90回/松坂 彰久さん 善光寺事務局勤務
- 第91回/小谷野 俊介さん 株式会社テレビ信州 代表取締役社長
- 第92回/FT Naked(エフティー・ネイキッド):林 保之・林 栄一・寺沢 雄一郎・中田 寿寛・長谷川 裕晃
- 第93回/栗田 要さん 一般社団法人アプリシエーション 理事長
- 第94回/FT Naked(エフティー・ネイキッド):林 保之・林 栄一・寺沢 雄一郎・中田 寿寛・長谷川 裕晃
- 第95回/堀井 正子さん 近代文学研究者
- 第96回/根城 知哉さん R-DEPOT 宿管理人、エムウェーブスケートクラブコーチ
- 第97回/小宮山 文登さん 教育・人材育成コーディネーター



通信

Vol. 98
2025.12



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834
長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail:nupri@nupri.or.jp

NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

Christmas Jazz Night -5 to 5-

第98回 わいがやサロン

■座長:岩野 彰/会場:NUPRI事務所
令和7年12月3日(水) 18:00~20:00

出演: **FT Naked**
エフティー・ネイキッド

メンバーそれぞれが仕事を持ちつつ活動している実力派——
ネイキッドの意は裸、むき出し、あるいは不完全

♪ 林 保之(sax) ジャズサクスを中村誠一・菊池康正氏に師事。県内ライブハウス、ホテル演奏など出演多数
♪ 林 栄一(tb,vo) トロンボーンその他、ビッグバンドなどの編曲も数多く手がける。ボーカリストとしても活躍
♪ 寺沢雄一郎(g) ジャズギターを角田忠雄氏に師事。日本のトップ・プロミュージシャンとの共演多数
♪ 中田寿寛(b) ビッグバンドを中心とするジャズ演奏の他、マンドリン合奏団でも演奏
♪ 長谷川裕晃(ds) コンボ、ビッグバンドなどジャズを中心に活動中



2025年最後の月を迎えるや否や、列島に寒気団来たるの宵——
わいがやサロン恒例のジャズ・ライブが催されました。

On Green Dolphin Street/ Driftin' /Black Nile

♪♪♪ まずは、わいがやライブにでもお馴染みになってきた`オングリーン ドルフィン ストリート`からスタート。いつものようにベース・中田さんの選曲司会進行です。

「2曲目は現在85歳で現役のハービー・ハンコックが若干22歳で発表した初アルバムにして完璧といわれた『TAKIN' OFF』から、`ドリフティン`をお聴きください。彼の初期の代表作です。ブルースを思わせるシンプルなメロディとハーモニー、リズムがライブ会場=事務所に充満していきます。♪♪♪

*On Green Dolphin Street (1947): 映画『大地は怒る(原題Green Dolphin Street)』の挿入曲(プロニスラウ・ケイパー作曲)。歌詞付きの曲をトランペットの帝王マイルス・デイヴィスがインストゥルメンタルで録音後、ジャズ・スタンダードとして定着。

*Driftin' (1962) アルバムではハービー・ハンコック(1940~)のピアノトリオ+トランペット・テナーサクスの演奏。

「3曲目はハービー・ハンコック、マイルス・デイヴィスとも一緒に活動したウェイン・ショーターが作曲した`ブラック ナイル`をやります。変わった曲なんです、とてもイイ曲です」——イントロに引き込まれる……確かにイイかも。力強く各プレイヤーに引き継がれていくテーマが全てを吸収する色・黒と世界最長で偉大な文明を生んだ大河・ナイルの融合なのでしょうか!? 【曲終了後にメンバー紹介】

*Black Nile (1964) サックス奏者・作曲家として知られたウェイン・ショーター(1933~2023)の楽曲。彼はジャズ・メッセンジャーズのメンバーとしても世代を超えて大きな影響を与えた。

Everything Happens to Me/All or Nothing at All

「次はフランク・シナトラが歌ってヒットし、ビリー・ホリデイやチャーリー・パーカーらによってジャズ・スタンダードとなった`エブリシング ハプズ トゥ ミー`をお送りします」♪♪♪ ギターのつまびき、いぶし銀に光るサクスが発するのは哀愁を感じさせるバラード。ドラムスはサーッサーッ(ブラシ奏法)とスウィングを誘い、ラスト近く、ベースが通常のピチカートから弓弾きになりペース感を深めました。

「続いてもシナトラが歌ってヒットした古い曲`オール オア ナッシング アット オール`、邦題は`のるかそるか`です」♪♪♪

*Everything Happens to Me (1940年代): トム・アデア作詞、マット・デニス作曲。「何かしようとするとき必ず何か起きる……」、でも人生捨てたもんじゃ無いと思っちゃいましょう。

*All or Nothing at All (1939): ジャック・ローレンス作詞、アーサー・アルトマン作曲。当初はヒットせず、数年後に再録音したバージョンが大ヒット。シナトラの唱法・キャリア、またポピュラー音楽全般においても重要楽曲とか。

Giant Steps

「次は`ジャイアント ステップス`というタイトルナンバーを演奏します。『ジャズの巨人』の1人でモダンジャズを代表するサクスプレイヤー、ジョン・コルトレーンが作った難曲として知られていますが、頑張り

ます」とMC。♪♪♪

終了後の各メンバーの声: 中田さんから送られてきてソウ来たか! / 複雑なコード進行と転調etc.。中田さん曰く、技巧曲だけど何ということなく美しいと聴いてもらえたら成功とのこと。プレイヤーの力量を信頼し、聴き手レベルを推し量ってください(?!)の選曲だったのでした。

*Giant Steps (1960): 40歳で没したジョン・コルトレーン(1926~1967)30代初期の大作。何がジャイアント・ステップなのかは諸説あるが絶えず前進を続けたジャズメンといわれる。

The Christmas Song /How Insensitive

「改めまして、今夜はクリスマス・ジャズ・ナイトということですので`ザ クリスマスソング`をボーカル、ギター、サクスの3人でお送りします」♪♪♪

「ボサノヴァを一曲。アントニオ・カルロス・ジョビンの名曲`ハウ イン センシティブ`をお聴きください」。トロンボーン、ギターの繊細なメロディにベース、ドラムスが低層を支えて織りなすハーモニー……おもむろに林(保)さんが棒状の木片を取り出し、カチカチと極小さな音でリズムを乗せるとサウンドは更にノスタルジックに。♪♪♪

ライブ終了後のわいがやタイムに林(保)さんが「サクスは出番がない曲なのでクラベス(ラテンアメリカ発の打楽器)を邪魔にならない程度にそっと打った」と話してくれました。

*The Christmas Song (1944): 作曲家・歌手のメル・トーマがボブ・ウェルズと一緒に書いた曲。ナット・キング・コール・トリオの録音(1946)は1974年にグラミー殿堂入り。

*How Insensitive (1961): ボサノヴァ創始者の一人アントニオ・カルロス・ジョビン作曲、ヴィニシウス・チ・モライス作詞。ジャズ、ポップス、ロック等でカバー。直訳すれば「何て無神経な」→後悔の恋を歌っている?

Isn't She Lovely/アンコール: All of Me

「ラストの曲になります。どなたもきくと聴いたことがある、ステイヴィー・ワンダー`イズント シー ラヴリー`です」♪♪♪

はい、これは知っていますと皆が頷くテーマを打ち出した後、アドリブ・ソロを回すジャズの王道で聴かせどころたっぷり! 会場が一体化したところでEND。

*Isn't She Lovely (1976): シンガーソングライター、音楽プロデューサーのステイヴィー・ワンダー(1950~)が娘の誕生を祝って作った楽曲で世界的に大ヒット。ソニー・ロリンスが即取り上げたことで有名。

拍手と「アンコール、アンコール」の声に「有難うございます。では、林栄一ボーカル&FT Nakedによる`オール オブ ミー`で締めさせていただきます」。♪♪♪ 軽快なスウィング・リズムが耳に残ったことでした。

*All of Me (1931): ジェラルド・マークスとシーモア・シモンズが作曲したポピュラーソング。ルイ・アームストロングらがヒットさせ、ジャズのスタンダード・ナンバーともなった。

わいがやタイムでは、今宵のクインテット、出席者、世の音楽プレイヤーが楽器に触れたきっかけは中学の吹奏楽部だった、そして近年の部活動小問題へと話の輪が広がりました。

